

課題名：DIP 関節および PIP 関節の変形性指関節症に対する治療成績の後ろ向き・前向き観察研究

研究の目的と概要

当院では、DIP 関節および PIP 関節の変形性指関節症に対して行われた腱切除術、関節固定術、鏡視下滑膜切除術、人工指関節置換術の治療成績を調べています。本研究では、過去の診療情報を用いて、治療内容、疼痛や手指の機能、画像所見、合併症、再手術の有無を検討し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

対象となる患者さん

2010 年 1 月 1 日～2026 年 5 月 31 日までの間に、倉敷中央病院整形外科で DIP 関節または PIP 関節の変形性指関節症と診断され、腱切除術、関節固定術、鏡視下滑膜切除術、人工指関節置換術のいずれかを受けた方。

研究に使用される情報・試料

本研究では試料は使用しません。使用する情報は、年齢、性別、患側、指、病変関節、診断名、画像所見、治療内容、疼痛評価、手指機能評価、関節可動域、握力、ピンチ力、単純 X 線所見、合併症、追加治療、再手術、観察期間など、通常診療で得られた診療情報です。

試料・情報の研究利用開始日

2026 年 7 月 1 日

研究方法

本研究は、過去の診療録、手術記録、画像検査結果、外来記録等から情報を収集して解析します。研究目的で追加の検査や治療は行いません。

研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご承知いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

問い合わせ先

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

整形外科 研究責任者 津村 卓哉

E-mail : kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存情報を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

問い合わせ先では、研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧、研究対象者の個人情報についての開示および手続、利用目的の通知、個人情報の開示・訂正等・利用停止等に関する相談を受け付けています。